

科目等履修生 調書

「科目等履修生（教職課程）志願にあたって」

この書類の各枠内の項目を自筆で記載して提出します。提出にあたっては、次の事項を確認します。
(□内にチェック印を入れる。□内にチェックが無い場合は審査の対象となりません。)

- この書類及び他の提出書類により科目等履修生（教職課程）の登録の可否が審査されることを理解しています。審査にあたっては、在学中の成績等の大学の保有する個人情報を使用されることを理解しています。
- 審査に必要な場合は、大学から面接の場が設けられる場合があることを理解しています。このため提出書類の住所・電話番号等で連絡を受けることができる状態であること確認します。
- 審査は、本学学則に従って行われ、可否の結果が郵送で通知されることを理解しています。このさい、点数や審議経緯の開示は行われなことを理解しています。
- 審査に合格して科目等履修生（教職課程）となった場合は、本学学則及び教職員による指導に従う義務があることを理解しています。さらに、教職課程履修者として、教育実習校の教職員・児童生徒・保護者及び介護等体験施設の施設利用者・職員の権利の保護を行い、本学の信用の保持に努めるなど、大きな責任があることを理解しています。

年 月 日

氏名

生年月日 年 月 日

卒業学科等（本学）

年 月

科目等履修生 調書

1 本学在学中の学修について

*在学中に教職課程を履修したかを明示して、履修の断念や困難の生じた理由などをしてください。教職課程に履修登録していない場合は、在学中の学修の成果や反省点などを明示してください。

2 本学卒業後の活動について

*本学卒業後に企業・地域・他の学校等で行った業務や学修などを簡潔に説明してください。その経緯を踏まえて、教員となるために活かせる経験や反省点などを明示してください。なお、本学卒業後にすぐに科目等履修生になる場合は、そのことを簡潔に書いてください。

科目等履修生 調書

3 科目等履修生に登録する理由及び経緯

* 教員を志願する経緯、自分自身の決意を具体的に記してください。自分自身の目指す教員像や、そのためにどんな努力をするのかなども記してください。

科目等履修生 調書

4 自己分析と対応

*すでに記した自分自身の学習経過や決意などを踏まえて、項目ごとに客観的に自己分析したうえで、どう対応するかを記してください。自信のある項目も、不安のある項目も、正直な記述をしてください。

質問	自己分析	対応方法
(1)教育実習校や介護等体験施設に迷惑をかけずに、貢献することができますか。		
(2)本学学則や教職員の指導に従って、教職課程履修者としての本分を果たせますか。		
(3)教員になるための知識・技能や人と社会に関わる責任を伸ばしていくことができますか。		

科目等履修生 調書

5 科目等履修生となった場合の学習の環境等について

*科目等履修生となる期間において、他の社会生活（企業、地域、家庭等）や学習がある場合はその両立の計画について記してください。予想される困難や制限がある場合は、どのように解決するかを記してください。

※必ず自筆（手書き）で黒のペンまたはボールペンで記入。訂正は二重線で行う。※修正印は不要
※書ききれない場合は裏面を使用しても良い。